

おもしろいことをして、周りの人を楽しませたい

諸輪在住

村井

孝輔さん

(18歳)

昨年12月13日に放送された『NHKのど自慢〜おうちでパフォーマンス〜』に応募し、チャンピオンとなった村井孝輔さん。

応募当時は東郷高校3年生で、この4月から大学生となります。

今回は、村井さんに応募のきっかけやチャンピオンになった感想などについて、お話を伺いました。



歌を届けて、元気になってほしい

中学生の頃から毎年高齢者施設へボランティアに行っていたという村井さん。そこで歌の披露をしたところ、毎回のリクエストが出るようになったそうです。

ボランティアに参加できる最後の年である今年は、新型コロナウイルスの影響でボランティアに行くことができませんでした。

「毎年歌を楽しみにしてくれているおじいちゃんやおばあちゃんに、歌を披露し元気になってもらいたい」と思っていたところ、のど自慢の募集を知り、応募しました。

工夫を凝らし、家族と協力して撮影

村井さんはおもしろいことを企画して行うことが好きで、今回応募した動画も、元々やりたいて考えていた企画でした。

村井さんの好きな尾崎紀世彦さんの曲「また逢う日まで」を、尾崎さんの姿になりきって歌い、昭和当時のセットを模して演出。ただ、リモート出演の募集を知ったのは、募集締め切り日の前日。

時間がない中、ブルーシートを使ったり、父のスーツや母の力ツラを借りたりするなど、家にあるものを使い工夫して撮影しました。

村井さんの動画は審査を通り、テレビに出演することとなりました。その凝った演出などが評価され、見事チャンピオンとなりました。

「出演できたことでも驚きだったので、チャンピオンになれるとは思っていませんでした。いつも歌を楽しみにしてくれている施設のおじいちゃんやおばあちゃんにも元気を届けられたかと思えます」とにっこり。

周りからの反響も大きく、「町内を歩いていて知らないおばあちゃんから『すごいね!』と声を掛けていただき、嬉しかったです」とのエピソードも。

町の発展に携わりたい

動画編集が好きだという村井さん。友人限定で動画を配信したことはあるが、今後は限定なしで配信したいとのこと。

また、住民の方があたたかい東郷町が好きで、将来は東郷町のイベントに関わるなどして、町の発展に携わりたいと話します。

周りのことを考え、楽しませてくれる村井さんのこれからに、注目です。



尾崎さんになりきって撮影

